

学校名	川越市立富士見中学校
所在地	川越市東田町17番地1
電話	049-242-0931

1 本校の概要

- ・ 「学校教育目標」 誇りある富士見中心豊かに自ら学び続ける 健やかな生徒の育成
- ・ 「学校図書館の重点目標」
読書を通して、考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。
- ・ 蔵書数 市費分 12,352冊 寄贈分 959冊
- ・ 学校司書の有無 有 週2回程度勤務
- ・ 司書教諭の有無 有

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書活動を通して生徒同士でコミュニケーションを図る取組

(2) 実践の概要

読書を通して、人とコミュニケーションを取り、自己表現ができる環境の充実を図りたい。そのために、図書担当や学校司書、図書委員会を中心として以下の取組を行った。

ア 校内ビブリオバトル

学校全体でビブリオバトルに取り組んでいる。各クラスから代表の生徒（図書委員）を選出し、校内選考会を実施。全クラスで投票形式をとり、代表者を選出した。



図1 ビブリオバトル図書委員会内決勝

市内大会においても、全校生徒が聴衆として参加することで読書に親しむ機会となった。

また市内大会後、校内のビブリオバトルにおいて紹介した図書についてGoogleスライドを用いて掲示物を作成した。



図2 生徒がスライドで作成した掲示物

イ 朝読書の取組

毎日朝8時25分から8時35分の10分間、全校一斉に朝読書を行っている。

ウ 読書週間に向けてのPOPの作成

読書週間に向けて委員会内でオススメの図書のPOPをGoogleスライドで作成し、展示を行った。担当教員や生徒が作成したPOPを見てその作品を借りていく生徒が複数おり、学校図書館を身近に感じる一助となった。



図3 生徒作成のPOP

エ 読書に親しむための環境整備

- ・ 図書委員による図書整理
- ・ 魅力ある図書室の装飾
- ・ 毎月の図書だよりの発行



図4 図書だより

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ ビブリオバトル等に学校全体で取り組んだことで、読書活動への興味・関心が全校で高まり、学校図書館の利用者数は1日平均15人程度、貸出冊数も月平均155冊と安定している。
- ・ Google classroomを用いてポスターやPOPを生徒自ら作成したことにより、生徒が学校図書館の活動に対し積極的に取り組むことができた。
- ・ 図書委員会の活動を通して、さらに読書しようとする生徒が増加した。

(2) 課題

- ・ 恒常的な利用者をさらに増やすこと。
- ・ ビブリオバトル等の活動をさらに充実させ、読書活動をさらに推進すること。

(3) おわりに

生徒を中心にビブリオバトルやPOP作成を行った。それらの活動の後、図書委員を中心に、本について紹介し合う姿が学校図書館内で見られるようになった。今後も読書に親しむとともに、読書を通じたコミュニケーション活動を行える場を提供していきたい。